



北海道大学病院
高度先進医療支援センター

News

高度先進医療支援センターニュース

第114号 2013年11月26日



北海道では寒さを真近に迎える頃となり、一足早い積雪が観測されました。

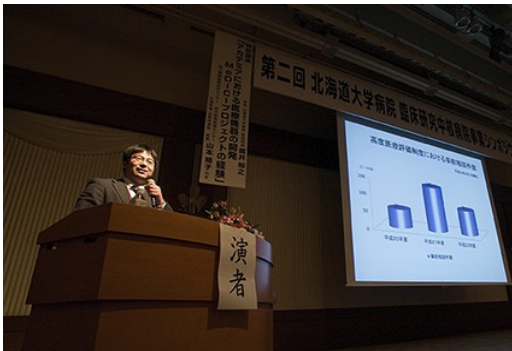
このたびは「第2回臨床研究中核病院事業シンポジウムについて」等、記載しております。



●第2回臨床研究中核病院事業シンポジウムについて●

本年11月13日(水)に京王プラザホテルエミネンスホールにおいて「第2回臨床研究中核病院事業シンポジウム」を開催いたしました。講演会には医療機関、製薬会社の関係者及び一般市民の方等、約150名の方々にご参加いただきました。

本シンポジウムは本院の「臨床研究中核病院整備事業」開始後1年経過に合わせて企画したもので、はじめに高度先進医療支援センター長の佐藤教授が「北海道大学病院における臨床研究中核病院事業」について、センター臨床研究推進部門長の寺元特任講師より「研究事業 進捗報告」についてそれぞれ発表後、3名のシンポジストの方からご講演いただきました。



教育講演として厚生労働省 医政局研究開発振興課 主査の吉岡 恭子氏からは『臨床研究に関する倫理指針の見直しについて』の演題にて、日本医療政策機構 エグゼクティブディレクター 宮田 俊男氏からは『薬事法改正等によるインパクト』の演題にてそれぞれご講演いただきました。宮田 俊男氏の再生医療の推進を踏まえた薬事法改正についての講演は、

近年の臨床研究関連の整備事業や日本版NIH設置等のトピックも交えて近年の臨床研究分野での行政について理解が深まるような講演内容で整備事業を推進する上で非常に参考になりました。

また、特別講演では国立循環器病センター 研究開発基盤センター 先進医療・治験推進部部長 山本 晴子氏から『アカデミアにおける医療機器の開発 -MeDICI プロジェクトの挑戦』をテーマにご講演いただきました。

山本 晴子氏の早期・探索的臨床試験拠点における循環器領域の医療機器開発を事例にした講演内容に会場からも質問が多数上がり、有意義なシンポジウムとなりました。



センターでは今回のようなシンポジウムを定期的開催するとともに、「信頼される臨床研究」を「北海道から世界へ発信する」臨床研究拠点となるべく、引き続き尽力していきたいと考えております。

●事務局からのお知らせ●

■ I R B開催予定日■

12月17日(火) 15:00 より

■会議室状況■

12月中旬までのご予約は、ほぼ満室になってまいりました。

S D Vをお申込みの際は、お早めにお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

■お願い■

S D V実施時、ご使用いただける電子カルテ台数・お部屋に限りがございます。

仮予約の時点で台数を確保致しますので、利用人数をご教示下さいますようお願い申し上げます。

現在、S D Vがたいへん混み合っている状況のため、日程調整にお時間を頂戴いたしております。「調整用フォーマット」のご提出は遅くとも【一週間前迄】と設定させていただいておりますので、引き続きご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。(適格性確認の場合を除く)



ホームページ: <http://trctca.huhp.hokudai.ac.jp/index.php>

お問合わせ・配信変更等: 電話 011-706-7061 (平日8:30~17:00)